

中村又五郎（3代目） 歌舞伎役者

昭和31年4月東京生まれ。

昭和39年、歌舞伎座「八段目」の奴で光輝を名乗り初舞台。

昭和56年、歌舞伎座「船弁慶」の静御前・知盛の霊ほかで三代目歌昇襲名。

昭和60年からは多数の海外公演にも参加し、平成23年新橋演舞場「菅原伝授手習鑑」寺子屋の武部源蔵ほかで三代目中村又五郎襲名。

口跡にすぐれ、歯切れの良い台詞ときびきびとした動きで舞台を引き締める立役。重厚さと軽妙さを併せ持ち、時代から世話まで役柄は広く所作事にも優れており、役に対する研究を怠らない心掛けは若手の良き手本である。

播磨屋一門を担い、自身も一層の精進と飛躍が期待されている。

昭和41年7月、平成3年3月 松竹会長賞

昭和45年11月 京都市民映画祭特別演技賞

平成13、20、21、22、28年 国立劇場優秀賞

平成24年3月 芸術選奨文部科学大臣賞

平成26年11月 紫綬褒章

他多数